

児童虐待に係る子ども家庭支援センターの取組について

1 要保護児童対策地域協議会を活性化する平成28年度の取組状況

◆ 要保護児童対策地域協議会の実務者会議及びケース検討会議の充実を図る取り組み

(1) 研修

- ・ 虐待防止支援員養成講座の実施
平成29年2月13日・2月21日・3月24日 要対協構成員で前年度の未受講者対象
- ・ テーマ別研修の実施
 - ① 性的虐待を考える 平成29年2月13日
 - ② 平成28年度虐待事例報告会 平成29年3月22日

(2) “顔の見える関係”強化・再構築

- ・ 児童虐待防止外部委員会による定期的な情報共有

虐待防止外部委員会 参加状況	H27年度			H28年度	
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期
小学校(18校中)	15	16	16	18	18
中学校(9校中)	6	9	8	9	9
合計(27校中)	21	25	24	27	27

- ・ スクールアドバイザーとの情報共有 月2回実施
子ども家庭支援センターと教育指導課との情報共有、学校との連携調整
- ・ 個別ケース検討会議開催状況
H28年度12月末現在数 116回(学校参加数88回)

◆ 子ども家庭支援センター相談員の役割や機能が明確になるチーム体制の検討

- ・ 虐待対策コーディネーターが機能できる体制について検討

2 取組結果

(1) 新規虐待相談件数(H28年度*は9月末現在数)

- ・ 経路別相談受付件数

	学 校	他の関係機関	家族・親族	近隣・知人	本 人	合 計
H27年度	108	62	13	37	1	221
H28年度*	38	54	22	19	1	134

- ・ 年代別・内容別相談件数

	学齢前	小学生	中学生	高校生 他	身体的・性的	心理的	ネグレクト
H27年度	86	83	40	12	78	94	49
H28年度*	64	52	13	5	35	71	28

(2) 児童虐待の対策に関する取組について

- 平成 27 年 4 月 30 日
「西東京市立中学校生徒の死亡事案検証委員会報告書」を作成
- 平成 28 年 6 月 24 日
「社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」による、個別ヒアリング調査を受ける。
- 平成 28 年 9 月 16 日
厚生労働省は「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第 12 次報告)」により、平成 26 年度の児童虐待死亡事例についての分析・検証結果を公表 (別紙概要版参照)

切れ目のない支援の充実について

- 子ども相談支援あり方検討会における庁内検討
- 要保護児童対策地域協議会 実務者会議の活用

検 討 事 項	26 年度	27 年度	28 年度
庁内検討組織の設置、課題の調査	実施		
各相談窓口のつなぎ方について			
・ひとによる連携体制の充実		検討・実施	
・システム連携体制		検討 	
要保護児童対策地域協議会を活用した連携について			
・部会の設置、共有方法の検討		実施	
・情報共有と効果の振返り			実施
要支援児童以外の相談情報の蓄積活用について			検討